

～季節展示「岩畳昆虫図鑑」から～

岩 畳 の 昆 虫 た ち

曾根崎 猛 史

季節展示「岩畳昆虫図鑑」（9月3日～10月20日）はご覧いただけましたか？

岩畳には、多くの種類の昆虫が高い密度で生息しています。その理由として、岩畳と周辺には多様な環境が、まるで箱庭のように凝縮されていることがあげられます。

季節展示では、岩畳周辺の環境を大きく4つに分け、それぞれの場所で普通に見られる昆虫を生態写真パネルで紹介しました。あらためて取り上げた昆虫たちを紹介します。

【岩畳・河原】

日差しの下では高温になり、水や土壌にも乏しい過酷な環境です。

- トノサマバッタ・カワラバッタ
- コニワハンミョウ・ウスバカゲロウ
- サトジガバチ

【四十八沼】

大きさ深さだけでなく、水面が開放的か木陰か？周囲は草か砂泥か？藻類が繁茂するか否か？などの違いで生息する昆虫も違います。

- マツモムシ・オオアメンボ・コサナエ
- ショウジョウトンボ・モノサシトンボ
- ハラビロトンボ

【草むら】

堆積した砂の上にイネ科の草本を中心に発達します。荒川の増水で攪乱されやすい環境です。

- クルマバッタ・キバネツノトンボ
- ショウリョウバッタ・コアシナガバチ

【斜面林】

川岸の雑木林です。林内には中低木や草本も発達します。岩畳の豊かな昆虫相は、斜面林があつてのことです。

- オオムラサキ・スミナガシ
- チャイロスズメバチ・コアシナガバチ
- ノコギリクワガタ・カブトムシ



コニワハンミョウの交尾



樹液を訪れるオオムラサキ



マツモムシの水中姿勢

来年2月からの企画展「どうなっているの？埼玉県の動植物」でも、埼玉の希少な昆虫を多数展示する予定です。ぜひ、お出かけください。
(そねざき たけし・担当課長)



埼玉県のマスコット「コバトン」

埼玉県立自然の博物館ニュースレター 瀬 第21号 平成25年12月13日発行
編集発行 埼玉県立自然の博物館 〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417-1
TEL 0494-66-0404 (総務担当) 0407 (学芸担当) FAX 0494-69-1002
URL <http://www.shizen.spec.ed.jp/> E-mail t6604044@pref.saitama.lg.jp